

大学院紹介  
口腔健康科学講座  
摂食嚥下リハビリテーション研究室

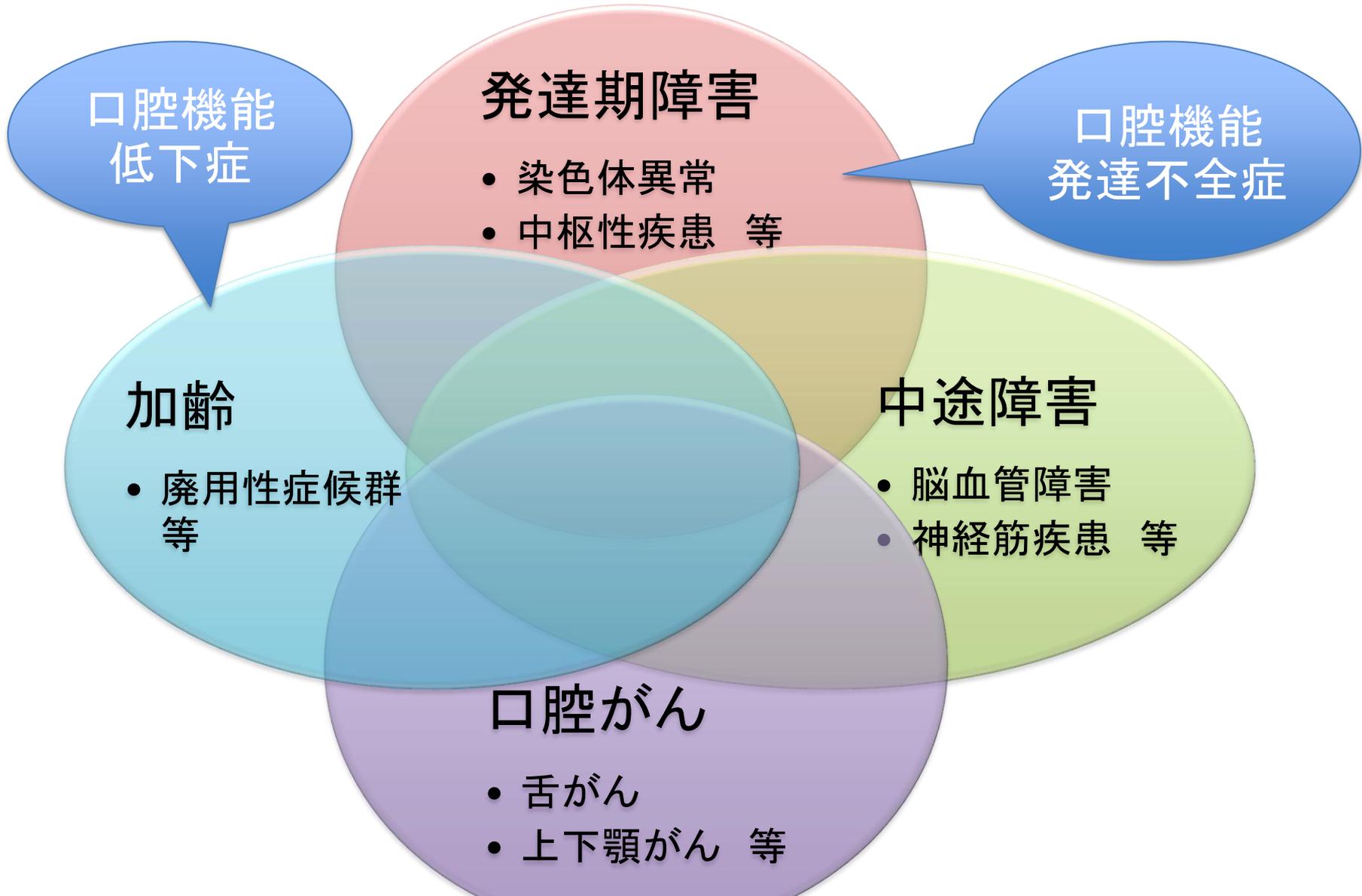
大久保真衣

# 大学院で何をしたい？

- 将来はどうしたい？
- 専門分野を持ちたい？
- 研究したい？
- 環境は？（経済的問題、家族の問題）



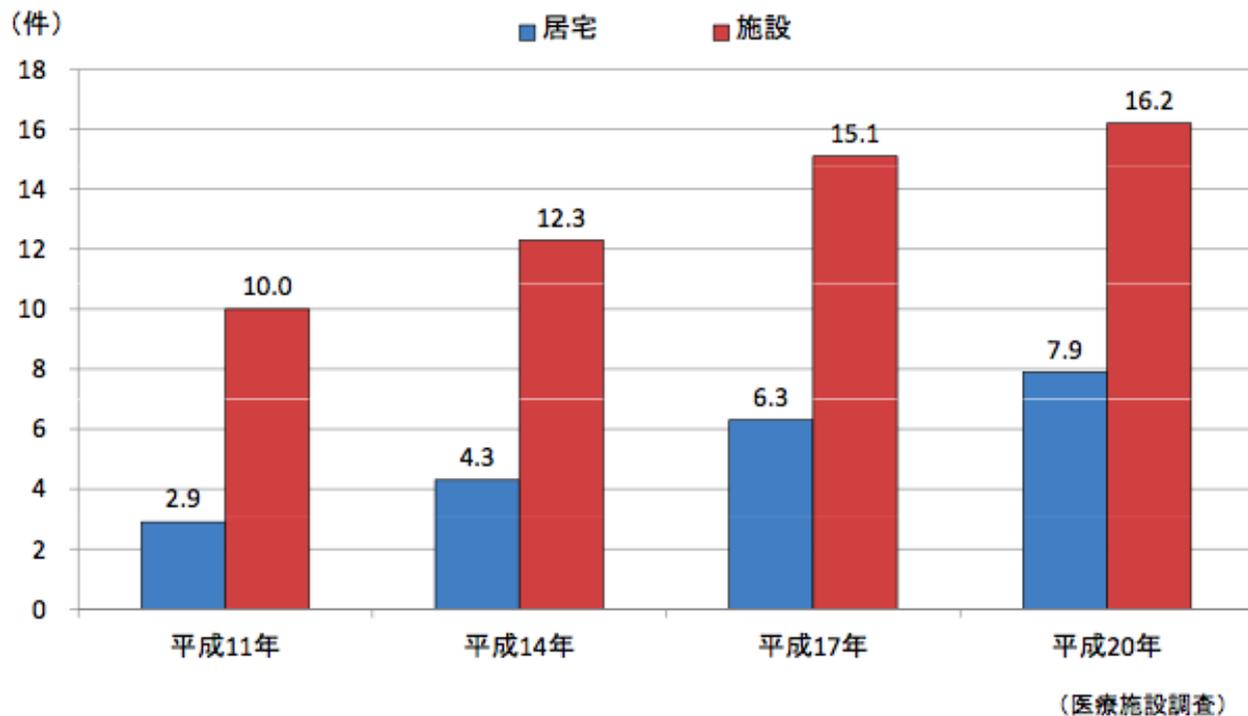
# 摂食嚥下機能障害



# 訪問歯科診療

## 1 歯科診療所当たりの訪問歯科診療実施件数(毎年9月分)

・1歯科診療所当たりの訪問歯科診療実施件数(9月分)は、調査を重ねるごとに増加。



# 研究

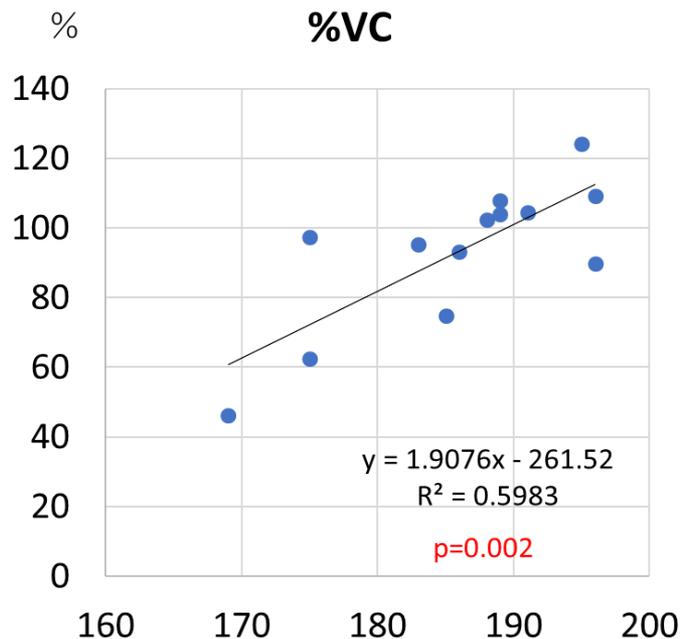
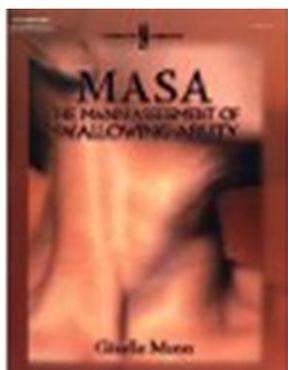
- 摂食嚥下機能評価ならびにリハビリテーション手技の新規開発  
MASAの応用  
超音波装置による機能評価
- 摂食嚥下リハビリテーション介入の効果検証
- 乳幼児の摂食嚥下機能発達
- 摂食嚥下障害患者への栄養提供



# MASAを利用した医科との共同研究

- COPD(慢性閉塞性肺疾患)や喘息患者の研究

呼吸器疾患患者の摂食嚥下障害の  
詳細は分からないぞ！



平成29年度 日本摂食嚥下  
リハビリテーション学会研究助成制度

# MASAを利用した医科との共同研究

- 精神疾患患者のためのスクリーニング評価の開発

## 5疾病患者数

精神疾患	323
糖尿病	237
がん(悪性新生物)	152
脳卒中(脳血管疾患)	134
急性心筋梗塞(虚血性心疾患)	81

出展: 老年歯科 32:8-16、2017

(万人)

🕒 2017年8月30日

精神科病院での身体拘束を考える



🐦 ツイート

👍 G+ B! 1

🔍 チェック



手首、胸、足の拘束具を装着する長谷川教授(長谷川教授提供)

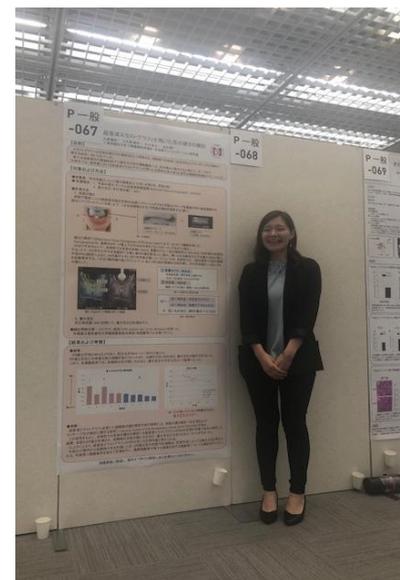
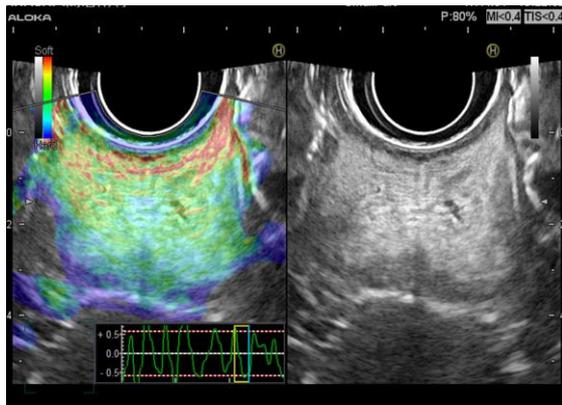
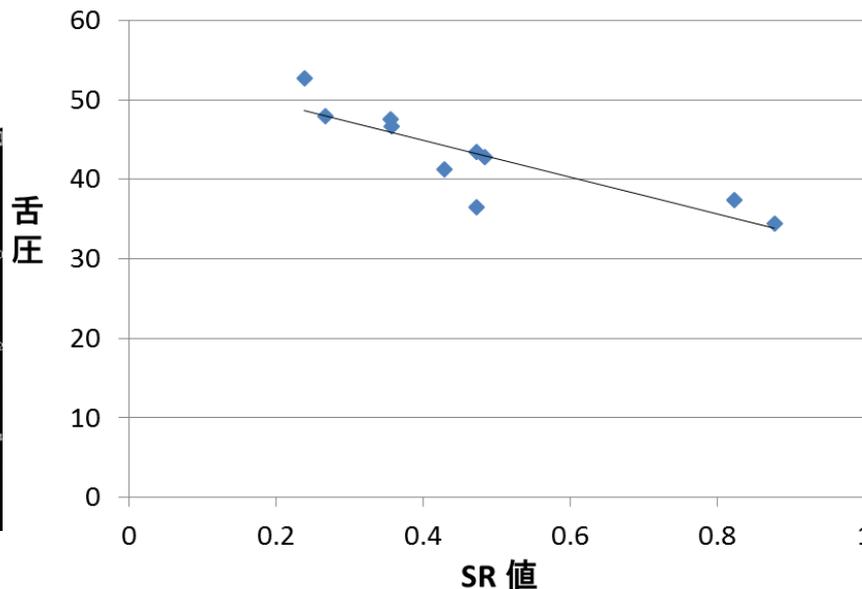
10年前から倍増した拘束件数

# 超音波エラストグラフィの研究

超音波エラストグラフィを用いた安静時の舌の硬さと舌圧の関連性を検討



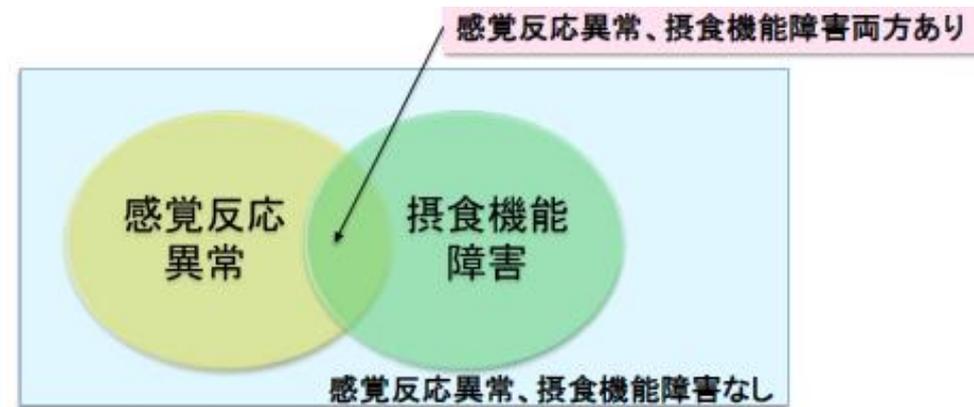
舌圧とSR値



# 摂食嚥下障害児における 感覚刺激に対する反応異常の検討

## SSP-Jの7セクション

1.触覚過敏性	7項目
2.味覚・嗅覚過敏性	4項目
3.動きへの過敏性	3項目
4.低反応・感覚探求	7項目
5.聴覚フィルタリング	6項目
6.低活動・弱さ	6項目
7.視覚・聴覚過敏性	5項目



偏食・味や臭いに  
敏感



# 摂食嚥下障害患者への 栄養提供

どう食べる



何をどう食べる

## 多彩な食材摂取↓長〜い「健康寿命」

摂取する食品の種類が多いほど、日常生活を支障なく過ごせる「健康寿命」が延びる。そんな研究結果を、名古屋学芸大健康・栄養研究所長の下方浩史教授（老年医学）らの研究グループが17日、発表した。2010年度、日本は食品の種類のおさは世界2位で、健康寿命は最も長かった。

研究グループは、国連の食物供給量のデータなどから、人口1

### 日本が最長 73.6歳

00万人以上の世界137カ国の食品の多様性をスコア化して計算。健康寿命は、健康でない生存年数などから推定した健康度調整平均寿命を用いて、1995年〜2010年の状況を解析した。

その結果、10年度の食品の多様性スコアは1位ニュージーランド、2位日本、3位スペインだった。健康寿命は1位日本73・6

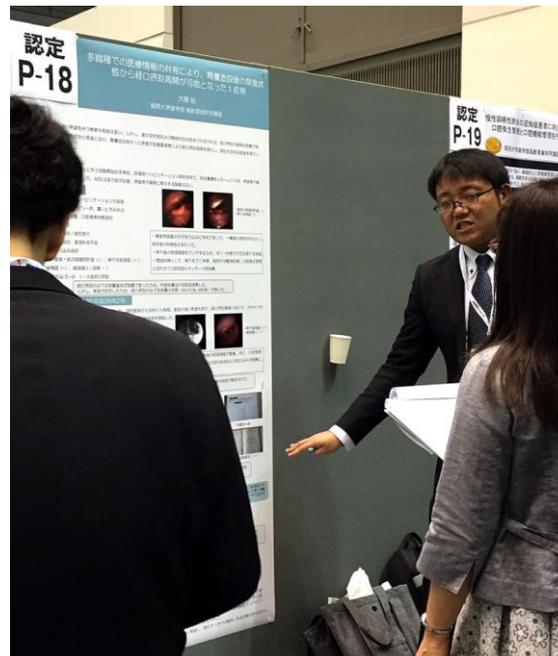
歳、2位スペイン71・9歳、3位スイス、イタリア71・7歳で、食品の多様性が高いほど、健康寿命が長い傾向にあった。また、平均寿命と健康寿命の差である「不健康な期間」の割合も小さい傾向があり、日本は世界で3番目に短かった。

下方教授は「食材の種類が少ないと摂取栄養素に偏りが生じやすい。多彩な食材を摂取することが栄養素の充足につながり、疾患を予防しているのではないか」と話した。

（黒田壮吉）

# 認定医

- 日本摂食嚥下リハビリテーション認定士
- 日本老年歯科医学会 認定医
- 日本障害者歯科学会 認定医



# 診療と研究 忙しい



大学病院での  
摂食嚥下リハ



研究



地域等で歯科アルバイト